## もりやま け じゅうたくいしぐら 森山家住 宅石倉

所 在 地:霧島市横川町中ノ小字諏訪 985

構造規模:木骨石造2階建,瓦葺,面積153 m²

竣 工:大正5(1916)年頃

敷地の裏手に位置する。東西棟,切妻造,桟瓦葺,平入の内部に中二階を設けた木骨石造倉庫で,南面に下屋庇を差し掛けてアーチ形の戸口を2箇所設ける他,下屋西端を石壁で囲い庫室とする。桁行9間梁間4間規模と大きく,商家の繁栄振りを物語っている。

登録有形文化財 46-0019 平 17.7.12 登録 登録基準:造形の規範となっているもの



かごしましちゅうおうこうみんかん 鹿児島市中 央公民館

所 在 地:鹿児島市山下町 11-1

構造規模: RC造地上3階地下1階建,面積 1126 ㎡

竣 工:昭和2(1927)年

建物周囲にドライエリアを設け、ラーメン構造のRC造、地下1階地上3階建とする。正面立面及び平面をほぼ左右対称とし、玄関両脇に階段室塔屋を配し、その間に4本のピラスター、イスラム風尖頭アーチの窓を設置するなど、中央重視の特徴ある意匠とする。

登録有形文化財 46-0020 平 17.11.10 登録 登録基準:造形の規範となっているもの



## きゅうそ ぎ はつでんしょほんかん 旧曽木発電所本館

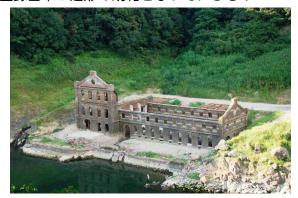
所 在 地:伊佐市宮人地内

構造規模:煉瓦造,面積652 m²

竣 工:明治42(1909)年

市南部に位置する旧水力発電所施設で,発電機棟とそれに直交する事務棟からなる。外壁イギリス積とし,上部を欠円アーチとした開口部を密に配する。妻には丸窓を設けコーニスを階段状につくるなど変化をつける。九州南部の大規模煉瓦建築として最初期のもの。

登録有形文化財 46-0021 平 18.3.2 登録 登録基準:造形の規範となっているもの



竣 工:明治 42 (1909)年

本館より北東の高台に位置する。発電用水の流下水量を調節するための発電所関連施設。切石積の構造物で,モルタル仕上げとした法面には,水圧鉄管を据えるための穴を4箇所設ける。残存する鉄管用礎石を含む。九州に築かれた初期の水路式発電所施設の遺構。

登録有形文化財 46-0022 平 18.3.2 登録

登録基準: 国土の歴史的景観に寄与しているもの

